

平成 19 年ペルー地震に対する対策本部設置および第一次調査団派遣について

2007 年 8 月 16 日午前 8 時 41 分ころ（日本時間）ペルー中部のピスコ沖（リマの南、約 200km）の深さ約 39km を震源とするマグニチュード（M）8.0 の地震が発生しました。

この地震による被害は、8 月 26 日時点で、死傷者 519 名、傷害者 1,366 名、家屋被害 56,363 棟に達しています。

これを受け、土木学会（会長 石井弓夫）および日本地震工学会（会長 北川良和）は、第一次調査団の派遣および調査支援のため対策本部（土木会本部長 古木守靖 専務理事）を設置しましたので、お知らせします。

対策本部では、第一次調査団（団長 ヨハンソン ヨルゲン 東京大学生産技術研究所講師）を現地に派遣する等して順次調査を開始しております。今後の調査に関する情報も順次、土木学会、日本地震工学会ホームページ等でお知らせします。

1. 団長および団構成

- * 団長 ヨハンソン ヨルゲン（東京大学生産技術研究所講師）
- * 団員 マヨルカ パオラ（東京大学生産技術研究所特任助教）

2. 調査期間：平成 19 年 9 月 4 日（火）～平成 19 年 9 月 29 日（土）

3. 主な調査項目：地すべり、液状化現象等地形地質の改変、道路、橋梁等ライフライン、現地素材建築物（日干し煉瓦）等。また途中 ASCE（アメリカ土木学会）と合同調査を行う予定。

4. 取材窓口

ヨハンソン ヨルゲン（大学電話）03-5452-6148（携帯電話）080-5031-7768
留守中：小長井一男（大学電話）03-5452-6142（携帯電話）090-1040-1271

5. 速報会、本調査団派遣等未定

6. 連絡先

土木学会、日本地震工学会の窓口は、下記へお願いします。

- ・土木学会 事務局企画総務課長 竹田 廣 office@jsce.or.jp
- ・日本地震工学会 事務局長 嶋原 毅 office@general.jaee.gr.jp

以上